

# 目次

はじめに	i
本書の使い方	vii

## 第1部 日本語教材とは何かを理解する 1

### 第1章

日本語の教科書とほかの教科書の違いを 考えてみよう	3
------------------------------	---

1 母語話者教師は日本語を勉強したことがない	3
2 母語話者教師にとって教科書とは何か	6
3 学習者にとって日本語教科書とは何か	7
4 学習順序、学習項目と教科書の関係	11

### 第2章

「日本語を教える」とはどのようなことか 考えてみよう	17
-------------------------------	----

1 日常の言語行動を観察してみよう	17
2 いつも話していることばと教科書の日本語を比較してみよう	19
3 レストランでの会話	19
3-1 レストラン場面での実際の会話	19
3-2 日本語教科書でのレストラン場面の会話	21
4 依頼の表現	22
4-1 日常場面で実際に用いられる依頼表現	22
4-2 日本語教科書にみる依頼表現	24

5	日常を切りとって教科書が作られているわけではない	28
	<b>COLUMN</b> 命令形はいつ使うのか?	30
第3章		
	なぜ「教科書で学ぶ」のか考えてみよう	31
1	母語の習得（獲得）と第二言語習得の違い	31
2	なぜ教科書を使って学ぶのか	34
3	だれがどのように教科書を使うのか	36
4	どのように「教科書で教え」ているのか	37
5	教師にとっての教科書の役割	39
6	チームティーチングのガイドブックとしての役割	42
第2部 日本語教材を分析する		
第4章		
	教科書の目的と多様性を知ろう	47
1	教材、教科書、教具を定義する	47
2	教科書の特徴	49
	2-1 日本語教科書の種類	49
	2-2 教科書の特徴 —総合日本語教科書—	50
	2-3 教科書の特徴 —目的別の日本語教科書—	52
	2-4 教科書とシラバス	53
	2-5 新しい流れ	54
3	補助教材の特徴	56
4	教具の特徴	58
5	日本語教科書から見る日本語教育の歴史	60
	5-1 日本語教育の歴史	60
	5-2 日本語教育の歴史と日本語教科書	62

## 第5章

コースデザインにおける教科書分析を考えよう	65
1 どのような人々が日本語を学んでいるのか	65
2 日本語を学ぶ人々のニーズ 一国内と海外との違い一	67
3 コースデザインと教科書分析	68
4 調査・分析の段階	69
4-1 ニーズ分析	69
4-2 目標言語調査	70
5 計画の段階	70
5-1 シラバスデザイン	70
5-2 カリキュラムデザイン	73
5-3 教科書分析	73
6 実施・評価の段階	73
7 コースと教科書のマッチング	75
<b>COLUMN</b> 「先行シラバス」「後行シラバス」って何？	77

## 第6章

どのように教科書分析をおこなうのか考えよう	79
1 コースデザインのプロセスと教科書分析	79
1-1 コースデザインのプロセス	79
1-2 教科書分析の方法	81
2 まず、教科書の全体像をつかむ	83
2-1 「まえがき」の部分から全体像を把握する	83
2-2 「目次」から全体像を把握する	84
3 各課の構成と内容の分析	86
4 課のつながりの分析	87
5 「わかりやすい」と「見やすい」とはどういうことか	89
5-1 表記	89
5-2 イラスト	91
6 教科書分析と日本語教育の現場	93

第7章	
教科書分析で何がわかるのか考えよう	97
1 なぜ、教科書を分析する必要があるのか	97
2 教科書から学習者は何を学んでいるか	98
2-1 教科の教科書と日本語教科書	98
2-2 日本語教科書の特徴	101
3 日本語教科書は何に焦点を当てているのか	102
3-1 日本語教科書と「文型」	102
3-2 「レベル別」という視点で見た日本語教科書	104
3-3 日本語教科書と「練習」	107
4 日本語教科書を分析することの意味	111

### 第3部 日本語教材を使って実践する 113

第8章	
「教科書分析」から「教案作成」へ進んでみよう	115
1 「教案」とは何か、何のために必要か	115
2 日本語の授業の教案作成	117
3 教科書から教案を作る理由	121
4 教科書から教案を作る方法	122
5 教案を作るときの作業手順	123
6 授業のとき、教案はどうするか	126
<b>COLUMN</b> 授業が終われば、もう終わり？	128

第9章	
教科書を道標として「授業」を作ってみよう	129
1 「直接法」と「媒介語を使う授業」について	129
2 授業の流れを追って準備する	131

---

3	直接法で授業をするコツ	133
4	どのように練習するか	134
5	練習問題を補充する	135
	<b>COLUMN</b> 教科書を使わない授業もあるの？	144

## 第10章

	教科書を使うときの「権利」と「義務」について考えよう	145
1	教科書を授業に使う権利	146
2	教科書の著作権	147
3	補助教材や問題集の著作権	149
4	教科書の著作権を尊重することの重要性	150
5	教科書の変遷に見る日本語教育の理念	152
6	みなさんが日本語教育のためにできること	158
	おわりに	160
	参考文献	162
	著者紹介	165

## 第 1 章

# 日本語の教科書と ほかの教科書の違いを 考えてみよう

アクティブ・ラーニングのための ▶▶▶ プレタスク

- ◆初級の日本語教科書を一冊入手して、その内容を眺めてみましょう。そして、みなさんが学んできた高校の「世界史」などの教科書と比べて、似ている点と異なっている点を書きだしてください。
- ◆日本語を母語にしている人（日本語母語話者）が日本語を教える場合に、どんなことが「よくできて」、どんなことが「うまくできないか」を考えて、書きだしてみてください。

日本語教育において教科書を分析する作業は、ほかの教科とは異なる特別な意味を持っています。第1章では、その「特別な意味」について考えていきます。

なお「日本語教科書」ということばで「日本語で書かれた（さまざまな科目の）教科書」を意味することも考えられますが、本書では「日本語を学ぶための教科書」に限定して「日本語教科書」ということばを使うことにします。

1 .....

### 母語話者教師は日本語を勉強したことがない

高校や中学の先生に「なぜこの教科の教員になったのですか」と聞くと、ほ

## 第2章

# 「日本語を教える」とは どのようなことか 考えてみよう

アクティブ・ラーニングのための ▶▶▶ プレタスク

- ◆ 食堂やレストランでの言語行動を、できれば録音し、すべて文字化してみてください。
- ◆ 1週間の間に、だれかに何かを依頼する際に用いた表現と、ほかの人から自分に何かを依頼された際に用いられた表現を、すべて書き留めておいてください。
- ◆ 上の二つのデータを見て、どんなことに気づきましたか。

日本語教科書にはたいてい日本語の基本文型が提示されていますが、それはどこから出てきたものなののでしょうか。そしてそれらを一つ一つ教えていくことが「日本語を教える」ことといえるのでしょうか。この課では、日本語を教えるということは実際に何をする事なのかを、日本語教科書を見ながら考えていきます。

1 .....

### 1 日常の言語行動を観察してみよう

私たちは、毎日、言語を使いながら生活をしています。朝起きてから夜寝るまで、どのような場面で、どのようなことばを使っているかを思い起こしてみ

# なぜ「教科書で学ぶ」のか 考えてみよう

アクティブ・ラーニングのための ▶▶▶ プレタスク

- ◆外国へ行って、その国のことばの勉強を始めようと思いましたが、教科書がありません。教科書なしで勉強を進めていく方法を考えて、学習計画を立ててみてください。
- ◆上の学習計画では、学べないこと、学ぶのが難しいことは、何でしょうか。教科書がある場合と対比させて考えてみましょう。

本章では、「日本語を学ぶ」方法について考えます。さまざまな外国語の学習方法が考えられる中で、なぜ「教科書」で学び、なぜ「教科書」で教えることが広く一般化したのか、ということを考えていきたいと思います。

1 .....

## 母語の習得（獲得）と第二言語習得の違い

第1章で「日本語母語話者教師は、日本語を勉強したことがない」という話をしました。「日本語を勉強したことがない」ということは、考えてみれば不思議なことですが、どんな人間でも、少なくとも一つだけは、まったく勉強しなくても「完璧に使える言語」を持つことができるのです。

このような自覚的に勉強したことがないのに、不自由なく話せるようになったことばを「母語」といい、母語を習得した後に勉強して話せるようになったことばを「第二言語」と呼びます。なお、母語と第二言語の「習得」が同じも

# 教科書の目的と 多様性を知ろう

アクティブ・ラーニングのための ▶▶▶ プレタスク

- ◆あなたが持っている英語など外国語の教科書や教材にどのような種類があるか、書きだしてみてください。
- ◆最近あなたが使った外国語の教科書は、どのような構成になっていますか。またどのような内容ですか。特徴を記述してみてください。

日本語教育においてもっともよく使われるのはいわゆる教科書ですが、実際の授業では、教科書以外にひらがなのカードや五十音図、聴解練習のためのCDなど、さまざまなものが用いられています。本章では、まず日本語教育の現場で無意識に使われている教科書や教材、教具といった用語の定義を考えたうえで、何がそこに含まれるのか、どのような特徴があるのかを考えます。

1 .....

## 教材、教科書、教具を定義する

教育の場では「教材」を用いて教えることがほとんどです。「教材」を定義すると、教師がある学習項目を教える際に、それを支えるために使用する素材、ということになります。教材の分類として、教科書と補助教材、教具に分けられます。図に示すと図1のようになります。ただし昨今では、ICT（Information and Communication Technology）の発展とともに、メディアの多様化が進んだため、これらの境界がはっきりしていないことも多くなっています。

# コースデザインにおける 教科書分析を考えよう

アクティブ・ラーニングのための ▶▶▶ プレタスク

- ◆あなたがこれまで英語の授業などで使用した教科書は、担当教師がどのように考えて選んだと思いますか。
- ◆あなたが使った外国語の教科書で、自分に合っている／合っていないと思ったのはどんなときですか。思いだしてその内容を記述してみてください。

日本語は、いったいどこでどのような人に、どのような目的で学ばれているのでしょうか。日本語の教科書を使用する際には、このようなことを正確に意識することが出発点となります。本章では、日本語教育の目的を理解し、教科書を深く理解するための背景をみていきましょう。

1 .....

## どのような人々が日本語を学んでいるのか

文化庁は毎年、日本国内における日本語教育の概要を発表していますが、2018年の国内における日本語教育実施機関・施設等数は2,290、日本語教師数は41,606人、日本語学習者数は259,711人です。1990年と比較すると、日本語教育実施機関などの数は2.8倍に、日本語教師等の数は5.0倍に、日本語学習者数は4.3倍にそれぞれ増加しているといえます。これらの人々に対する日本語教育が進められてきたわけですが、時代によってその目的にも変化が現れ

# どのように教科書分析をおこなうのか考えよう

アクティブ・ラーニングのための ▶▶▶ プレタスク

- ◆あなたは、これまで新しい言語を勉強しようとして教材を選んだことがありますか。どんな教材ですか。その際、どんなことを重視しましたか。
- ◆あなたが、留学先や外国人の知りあいから日本語を教えてほしいといわれ、適当な日本語の教材を探してみることにしました。どのように探しますか。そして、選ぶ際に何を決め手としますか。

コースデザインでは、新たな教材や教授法の開発をする場合もありますが、通常は市販や公開がされている教材の中からコースの目的に適合するものを選ぶこととなります。ここで必要となるのが、「教材分析」という作業です。「教材分析」は実質刊行されている教科書の分析をおこなうことがほとんどですので、ここからは「教科書分析」と呼ぶことにします。では詳しくみていきましょう。

1 .....

## コースデザインのプロセスと教科書分析

### 1-1 コースデザインのプロセス

コースデザインのプロセスを第5章で示しましたが、その図に「教科書分析」の作業を加えると図1のようになります。

# 教科書分析で 何がわかるのか考えよう

アクティブ・ラーニングのための ▶▶▶ プレタスク

- ◆あなたが、これまで使った言語の教科書の一つを選んでください。その教科書は、どんなことに焦点を当てて編集されていますか。「まえがき」や「目次」から判断しましょう。
- ◆あなたはその教科書を用いて、何が習得できましたか。思いつくことをすべてを書きだしてみてください。

私たちはどんな視点で教科書を見て、そして選ぶのでしょうか。日本語教師同士が雑談をするときに必ず出る話題は教科書のことで、新しい教科書が出たとか、新刊の教科書を使ってみたものの、昔から使っている教科書が結局いい、といった内容です。この章では、なぜ教科書を分析する必要があるのか、そして分析して何がわかるのかを考えてみたいと思います。

1 .....

## なぜ、教科書を分析する必要があるのか

教科書は、さっと内容を見ただけでは、実際にどのような教科書なのかを正確に判断できないことがあります。

私たちは実際どのように教科書を判断するのでしょうか。まずは「目次」を見て、扱われている項目を確認するでしょう。それ以外には、ページ数やぱっと見たときの見やすさかもしれません。多くのことが詰めこまれている本をいい

## 第 8 章

# 「教科書分析」から 「教案作成」へ 進んでみよう

アクティブ・ラーニングのための ▶▶▶ プレタスク

- ◆日本語教科書を一冊選び、教えるのが難しそうな課と易しそうな課を選んでみてください。そして、なぜその課が難しい（易しい）と考えたのか、その理由を書いてみてください。
- ◆教科書によって各課の構成は統一されていますが、実際の授業の進行の順番になっているとは限りません。任意の一課を選び、授業の進め方を考えて、構成を並べなおしてみてください。

第7章までは、日本語教育における教科書の意味や役割について考え、教科書の内容を分析する方法を学んできました。第8章と第9章では、教科書の分析結果を授業や研究に使う方法を具体的に考えていきます。まず第8章では「教科書分析から教案作成へ」というテーマで教科書から授業のシナリオである「教案」を作っていく方法を学びます。

1 .....

## 「教案」とは何か、何のために必要か

教師の仕事でもっとも重要なことは「授業をする」ことです。実際に教師になってみると、授業以外の仕事が意外に多いことに気づかされますが、教師に

# 教科書を道標として 「授業」を作ってみよう

アクティブ・ラーニングのための ▶▶▶ プレタスク

- ◆日本語教師が授業の前しておくべき「準備」には、どのようなものがあるか考えてリストアップしてください。
- ◆リストアップした「準備」をするのに、それぞれどのぐらいの時間がかかるか予想してみてください。

第8章では、教科書から教案を作る手順を、コース全体を見渡すマクロな視点から考えてきましたが、第9章では、具体的に1時間の教案を授業にするまでのミクロな手順を考えます。特に経験が浅い教師が、教科書を道標、あるいはガイドブックとして活用して、どうやって自分の授業を準備していけばよいか、という手順を具体的に考えていきたいと思います。

1 .....

## 「直接法」と「媒介語を使う授業」について

最初に考えなければならないことは、どんなことば（言語）を使って日本語を教えるか、ということです。

クラスの全員（教師と学習者）が同じ言語を理解することができるのなら、新出単語や文型の意味やそれが使われる場面を説明するときに、全員が理解できる言語を使うことができます。外国語の授業で説明に使われる言語を「媒介語」といいます。

# 教科書を使うときの 「権利」と「義務」 について考えよう

アクティブ・ラーニングのための ▶▶▶ プレタスク

- ◆「著作権」について、あなたが知っていることをまとめてみてください。そして、日本語教科書を授業で使うことと著作権について考えてみてください。
- ◆日本語の専門店・凡人社のWebサイトには、毎月、日本語教育関連の新刊を紹介する「凡人社通信」が掲載されています。過去1年分の「凡人社通信」にアクセスして、1年間にどのぐらいの日本語教育の教科書、問題集、参考書が刊行されたのか統計をとってみてください。  
<<http://www.bonjinsha.com/>>

この章では、いままでと少し異なった観点から「教科書」に関する話をしていきたいと思います。一つは、教科書の「正しい使い方」についての話です。ここでは「著作権」をキーワードに教科書の「正しい使い方」を確認し、それがなぜ重要なのか考えていきます。もう一つは、教科書の「寿命」という話です。教科書は日本語教育の発展とともに新しくなっていきます。みなさんも教科書のあり方を考えることで、日本語教育の未来を担ってほしいと思います。